

(1) 大気汚染に係る環境基準及びその評価方法

物質	環境上の条件	評価方法	
		短期的評価	長期的評価
二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下	年間の1日平均値の2%除外値が0.04ppm以下
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	/	1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。	1時間値が0.06ppm以下	/
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下	年間の1日平均値の2%除外値が0.10mg/m ³ 以下
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下	年間の1日平均値の2%除外値が10ppm以下

※ 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域または場所については、適用しない。

※ 長期的評価にあたっては、年間の測定時間が6,000時間未満の場合は評価の対象としない。